

研究課題名	日本における若年性特発性関節炎患者の現状と問題点を全国的に継続的に明らかにするための共同臨床研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科小児科学 教授 岡田 賢
研究期間	2017年10月2日（倫理委員会承認後）～2025年3月31日
対象者	当院小児科に通院・あるいは入院中のJIA患者（発症16歳未満）を対象とする。性別は問わない。現時点での年齢は問わないものとする。
意義・目的	<p>本研究の目的は、JIA患者の情報収集のための全国規模の多施設共同ネットワーク（データベース）を構築し、継続的に情報を収集して、JIA診療の現状および問題点を明らかにすることです。先行する成人の関節リウマチのデータベース（NinJa）との共通項目を含めたデータを収集し、大規模かつ継続的に調査することで、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治療内容、疾患活動性、身体機能、関節破壊の実態および経時的変化 ・感染症 亜性疾患 骨粗鬆症などの合併症の実態および経時的変化 <p>（個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・小児科から成人診療科への移行状況、移行時期および問題点 ・成人診療科移行後の経時的変化
	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠、出産、就労などを含めた長期予後 <p>など、これまで詳細が不明であった本邦におけるJIAの実態および長期予後の検証が可能となります。</p>
	<p>方法</p> <p>本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は発症年齢、性別、病型、関節炎の状態、血液検査・尿検査・レントゲンの結果、合併症、家族歴、入院・通院状況、就学・就労状況、妊娠・出産状況、手術の有無とその内容、治療内容、人工関節の予後、などです。</p> <p>（個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p>

あいち小児保健医療総合センター・感染症/予防診療科・岩田 直美

宮城県立こども病院・総合診療科・梅林 宏明

KKR 札幌医療センター・小児/アレルギーセンター・大倉 有加

琉球大学大学院医学研究科育成医学・金城 紀子

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児科学・久保田 知洋

金沢大学付属病院小児科・横山 忠史

横浜市立大学大学院医学研究科発生成育小児医療学・野澤 智

兵庫県立こども病院 リウマチ科・中岸 保夫

岡山大学病院 小児科・八代 将登

広島大学病院・小児科・安村 純子

京都大学大学院医学研究科発生病達医学講座発達小児科学・八角 高裕

山口大学大学院医学系研究科小児科学分野・脇口 宏之

国立病院機構相模原病院臨床研究センター・リウマチ科・松井 利浩

千葉大学医学部付属病院・小児科・山出 史也

北海道大学・小児科・竹崎 俊一郎

千葉県こども病院・井上 祐三朗

試料・情報の管理責任者

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生涯歯科歯病学講座(10・審判監査学講座)・教授・森